

特別会計

国民健康保険

特別会計

歳入総額は30億7、800万円、歳出総額は28億8000万円で、形式収支では2億7、000万円の黒字となりましたが、基金繰入金（取り崩し）や前年度繰越金等を控除した実質的な単年度収支では1億2、779万円の大幅な赤字となりました。

歳入では、国保税収や国庫補助金等の獲得に積極的に努めましたが、歳出の保険給付費が前年度比1億6千万円超と急増したため、財政調整基金を取り崩して財源を確保しました。このため、合併時（年度末）の基金残高は1億5千万円余に減少しています。



老人保健特別会計

歳入総額は21億6、249万円、歳出総額は21億2、230万円で、収支差額の4、019万円を翌年度で清算することになりました。

老人医療費総額は、受給対象者の減少により、前年度比で1億1千万円ほど減額となりましたが、一人当たりの年間医療費は52万円となり、引き続き増額傾向にあります。

介護保険特別会計

歳入総額は、保険料、国県負担金、支払基金交付金、一般会計からの繰入金などで、13億2、382万円で、歳出総額は、保険給付費や認定審査会費などで12億6、494万円でした。

食肉センター

特別会計

歳入総額は、2億4、060万円、歳出総額は、1億8、403万円で、歳入歳出差引きでは、5、657万円の黒字となりました。と畜頭数は、豚が13万8千828頭で前年度より2千992頭の減、牛は3千486頭で前年度より399頭の減となりました。

また、平成17年度から本格稼働したカット室については、ほぼ計画どおりの豚4万7千973頭の利用となりました。この結果、財政調整基金は、当初計画どおり2千万円を積み立てできると安定した財政運営ができました。

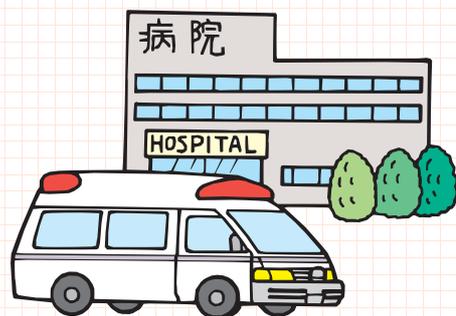
農業集落排水事業特別会計

歳入総額は、施設使用料や一般会計からの繰入金などで、6、568万円でした。

また、歳出総額は施設維持管理や運営費、起債の元利償還費などで、6、327万円でした。

病院事業特別会計

歳入の総額は、大宗をなす診療収入及び、一般会計繰入金、補助金等で12億9、155万円、歳出の総額は、人件費、材料費、企業債償還金、器械購入費等で13億9、136万円でした。



決算審査報告書

各会計とも決算数値は正確であることを確認しました。

また、事務事業の執行状況は、各会計とも目的に沿って適正に執行され、その処理方法も適正であり、財産管理も適正に行われ、基金の運用についても適正かつ効果的に行われていることを確認しました。

鈴木 俊

大木 國臣

代表監査委員

大木 國臣

平成17年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算書について、各会計の決算書並びに添付された関係書類に基づき、各会計歳入歳出帳簿及び証拠書類を照合審査した結果、